

# 園藝曆 (九月 長月)

大岩金

| 氣節    |          |
|-------|----------|
| 二百十日  | 一日頃      |
| 二百二十日 | 十一日頃     |
| 白露    | 八日頃      |
| 彼岸    | 二十一日頃    |
| 秋分    | 二十四日頃    |
| 社日    | 秋分ニ近イ戌ノ日 |

## 仕事

### 一、繁殖(播種と植込)

女櫻まだ抜き捨てるには惜しい程花が咲いて居ります。  
 秋の七草の萩、女郎花、藤袴、ススキの類も見頃であります。  
 野草のリンドウ、ホトトギスも花を開きました。

草花類では雁來紅はげまきが一きは目立つて見えます。その外鶏頭、トレニア、ツクバネアサガホ、カンナ、カ、リヤ、ナデシコ、キキョウ、矢車天人菊、春から咲き續けてゐる美

春の彼岸と同じく秋の彼岸前後は種子播に最も忙しい時であります。秋は追々に来る寒さをひかへて居りますので晩播になりますと充分に發根發芽しない中に降霜の季に入り年内の發育が大變おくれて参りますから秋の種子播は春

のそれ以上に期を失してはなりません、種子播に次で秋植球根類も今月から來月にかけて植込みをしなければなりません、夫等名稱は便覽にゆづりここには省略致します。

蔬菜類では蒿、蒨葎草、蒿蒿を播きます。

球根類の水栽培

是も今月下旬から來月上旬にかけて行ひます。種類は支那水仙、クロツカス、ヒヤシンスが多く用ひられて居ります。水仙は水盤にクロツカス、ヒヤシンスは特別の瓶を種苗店に賣つて居ります。しかし是に準じた物を代用する事は差支へありません。

水栽培に就ての注意、

1、球は最も上等であること  
2、瓶に入れる水は球の下部が少々浸る程度(多すぎますと球が腐敗することがありますから根が出ましたならば球より少しはなれた所まで水を減します)

3、水に浸しましたならば戸棚の中などのやうな暗所に入れて先に充分發根させ然る後順次日當に出すやうにすること

4、瓶内の水は根を外に出さないで時に取替へること

二、その他の仕事

二百十日、二百二十日の前後は一ケ年中で最も暴風雨の多い時であります。一夜のうちにも取り返しつかないやうな事にもなります、荒れぬ間に支柱をたてるべきものは支柱をなし、鉢などは棚から下し又ははねかしておくなど注意にも注意を重ねておきませう。

夏草の後好末もしておいて秋草の植込の用意もしておかなければなりません。

その外長いお休みの後のこととて此處彼處亂れ勝であります。小供等と一緒に雑草もとり、虫もとり、片付もするなど今日も外明日も畑としなければならぬ仕事は山のやうにあります。



|                  |              |                |                        |                        |                |
|------------------|--------------|----------------|------------------------|------------------------|----------------|
| アグロステンマ<br>ラクスパイ | 千鳥草<br>(飛燕草) | 虞美人草<br>(ヒナゲシ) | 譽栗<br>句莖               | オビウムポツピー<br>スキートバイオレット | パンジー<br>スキートピー |
| 麥撫子              | 千鳥草          | 虞美人草           | 譽栗<br>句莖               | オビウムポツピー<br>スキートバイオレット | パンジー<br>スキートピー |
| 播種               | 播種           | 播種             | 播種                     | 播種                     | 播種             |
| 五—七              | 五—六          | 五—六            | 二—五<br>四季              | 六—八                    | 五—六            |
| 桃                | 紫、白、桃等       | 各種             | 白、赤、紫<br>紫、白<br>紫、白、黄等 | 各種                     | 各種             |
| 三〇—四五            | 四五—九〇        | 三〇—九〇          | 六〇—九〇<br>一五—二五         | 一五—二五                  | 九〇—二一〇         |
| 移植ヲ忌ム            | 移植ヲ忌ム        | 移植ヲ忌ム          | 移植ヲ忌ム<br>挿木、播種モ可       | 挿木、播種モ可<br>四時挿木ヲナシ得    | 移植ヲ忌ム          |

文 部 省 講 習 會  
本 會 講 習 會  
何 れ も 盛 會 を 極 む

既報の、東京女子高等師範學校に開催された兩講習會は、例年にも増しての盛會で、前者は約三百五十名、後者は二百數十名の多數會員であつた。會期中の七月下旬といふものは、十幾年振りといふ酷暑であつたが、全會

員にじみ出る汗を拭ひつゝ熱心に聴講、又は實習の様子であつた。文部省の講習中、堀、新庄、菊池講師の御承諾を得て、その講演大要を本誌に掲載することにした。